

「医学統計」終了の一句（川柳）と感想

秋田大学医学部 2 年生選択科目「医学統計」

2016/12/05～09

1. ああまたか 差し戻すのも つかれるよ

今回、一週間医学統計に嵌まった訳だが、かなり難しいというよりも、時間がなかった。統計の素人に、いきなり骨のある統計学を教えられ、アップアップであった。でも、自分としては、学校に入ってきて最も働いた一週間で、充実してたのかもしれない。統計学は医学に拘わらず、全ての試みに必ず必要になってくる実感はあるので、この一週間で学んだことをうろ覚えにするのではなく頑張っていきたいと思います。最後に、面倒をみてくれた岩田先生と龍田先生と前田先生と村田先生にお礼申し上げます。

2. キーの音 次第に耳に 心地よく

一年生で学習した統計学のさらに踏み込んだような授業で、忘れていた変数や検定の方法を思い出し理解を深めるための良い機会になったのではないかと思います。他の講義に比べると作業量も多く時間も長かったですが、その分他の生徒たちと比べて成長できた気がします。この先研究やレポートの作成・読み取りを行っていく上で今回学んだことは必ず役に立つと思うので、忘れてしまったときはレジメなどを読み返し、しっかりと頭に定着させていきたいと思います。

3. 大変だ 隣と平均 違ってる

環境保健の授業は、とにかく辛かったです。一日中パソコンを見つめ続けることによる肩凝りと眼精疲労に連日悩まされたし、データの打ち込みが違っていたときの絶望とやるせなさは計り知れないものがありました。統計ソフトのデータも一度打ち込みを間違うと後に戻れない仕様なのも疲労感を増幅させました。

正直もう二度とやりたくない毎日思っていました。しかし「今やっておけば来年のためになる」、「将来のためになる」と無理やり自分に言い聞かせて一週間画面に向かいました。今はパソコンから解放された喜びで胸がいっぱいですが、このスキルを失わないように折に触れては思い出したいです。ためになる授業を有難うございました。統計ソフトの改善をご検討いただければ幸いです。

4. うえしのぎ 負けるな吾ら ここにあり

この一週間は大学に入ってから一番と言って良いほど大変密度の濃いものであった。大切大切とは言われながらもまじめに取り組むことができていなかった統計分野について、一からビシビシと鍛えていただき自信を持つことができた。水曜日の午後休みがなくなったときは本当にながかりしたが、一週間だらけることなくしっかりと頭を使い続けられて本当に良い経験になったと思う。

5. 授業あと 兵どもが 夢のあと

これまで統計学は一年生のときに少しやった位で、ちゃんと向き合ったことがありませんでした。しかし、今回の実習では厭と言うほど向き合うことになり、その大切さ、難しさ、奥の深さを痛烈に実感することがで

きました。最初は一体どこから手をつけたら良いのかも分からず、手探り状態で、先生方の助けを借りながら何とかかんとか進んでいました。それが、やっていくうちに何とか道筋をぼんやりとはありますが、見出せるようになっていました。そのことに気づいた時、自らの成長を感じました。

この統計学は、医学論文を読むために必要な知識であり、実習という形でしっかり勉強する機会というのは非常に貴重なものであると思います。様々な貴重な体験をさせていただき、先生方には本当に感謝しています。有難うございました。来年3年生として授業が受けられるように、統一頑張りたいと思います。その時は宜しくお願いします。

6. 大変だ 正規分布を していない

一週間医学統計に触れてみて、日々の生活では発言を理論付けることなく過ごしているが、将来医師になり患者やチーム医療の仲間たちに治療方法を説明する際には、全てに理論付けなければ皆は納得できないと村田先生が仰っていて今回その重要さを学べたと思う。一つ検定をするには検定をするための条件を満たさなければいけないし、検定が有意でなければ使用するデータの要約値は変わるし、結論を出すまでとても長い道のりがあって、しかしその道のりがあるからこそ結論を言い切れるのだなと感じた。最初は統計なんてできないと心の底から思っていたが、段々と使用すべき検定やその検定をするためにはどの数値を使えば良いのかが判ってきて、結論をしっかりと出せたときは嬉しいと純粋に思えた。学んだこの知識を使って医師になってから論文等を読んでも情報を鵜呑みせず自分で考えて結論を出したいと思う。

7. マスターズ 一週間で 仲良しに

環境保健の講座で統計学をやると気づいたとき、なんてこった、数学苦手だし…と思ってました。実際にやってみて、やっぱり難しいし、間違えるし、抜けるしで、大変でした。でも、日々やっていく中でだんだん段取りが判るようになって、使い分けまでも考えられるようになり、自分たちが成長していくのが判って嬉しかったです。父が以前産業医をしていて、その話も聞いていたのもあって公衆衛生や環境保健には興味があります。今回統計学を学んだことを活かして、3年次にもある授業でこの講座をより深く学んでいきたいです。一週間有難うございました。すごくためになりました！

8. 医“楽”生 統計により 苦学生

今まで医学論文を通して読んだことはなく、統計の必要性は感じていなかった。今回のコースを通して、幾度となく統計の重要性を耳にし、また、多くの失敗例を提示してもらえたことにより、考えを改めようと思う。これから論文を読む際には統計データにも着目したい。何よりの収穫は、科学に対して客観的な見地に立つことがわずかながらできるようになったことであると思う。これまで、データを感覚的、一面的にとらえていたが、その母集団はどうなっているのか、それを手饗させる限界はあるのか、など、論理的、空間的に把握していきたい。

9. 人生で 一番つらい 一週間

他の人たちが午後休みだ〜あと言ってる中の毎日の作業は辛かったけど、この授業を通して精神力、忍耐力で圧倒的な成長を遂げることができた気がした。また毎日の統計の授業で後半に出てくる統計の方法は前半に習ったことと繋がっていることが多く興味深いものでした。1週間有難うございました。